

ひかり

2019年8月号



日本聖公会 三光教会

第680号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

聖霊降臨

このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供に良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。

(ルカによる福音書 11:13)

自己紹介 ①

司祭 ヨナ成 成鍾

小職を三光教会へ導いてくださった神様に感謝いたします。皆さんとの新しい出会いは、私自身にとつて何より幸せなことです。これから神様が結び合わせてくださった縁を大事にしながら、互いに良い関係を築き、さらに神様へまで成長していきますことを願います。

先ず、自己紹介をさせていただきます。私は韓国のソウル市で生まれ、成人するまで過ごしました。浪人生活を経てからメソジスト大学の宗教哲学科に入学し、宗教と哲学一般に触れることを通じて考えることの楽しさを学ぶことができました。また民主化運動の最中、大学生活を送ったのは大きな恵みでした。大学を卒業した後、舞台美術を学ぶためにモスクワに留学し、帰国後は、約2年間キリスト教放送局でドキュメンタリーのシナリオ作家として務めました。その時期、山奥の修道院で人生について真剣に考え、神様と徹底的に向き合う機会が与

えられました。断食と黙想のうち、「つかむ」のではなく、「放す」ことの大切さに気づき、そのあけく牧師となる決心へと導かれました。

牧師になることを決めた私は、韓国では最も小さな教団である聖公会を選び、神学校である聖公会大学院に入学しました。卒業後、ソウル教区の伝道師と執事を経て、沖繩教区への派遣のためプサン教区で司祭になりました。2001年に宣教師として日本聖公会沖繩教区に派遣されたから、約7年半を沖繩で過ごしました。その後、2009年4月からは聖公会神学院に転任し4年間、チャプレン、と、スピリチュアル・ディレクター(Spiritual Director)として勤めました。神学院に努めている間、日本に来て10年になる節目の年を迎え、その際に聖職籍を東京教区へ移すことになりました。東京教区の司祭になってからは、渋谷聖ミカエル教会と大森聖アグネス教会の牧師を経て、3年間の韓国とアメリカでの留学の恵みにも預かりました。

来月に自己紹介②が続きます。

8月～9月の予定

| | | |
|-----|--------|----------------------|
| 8月 | 18日(日) | 聖霊降臨後第10主日 |
| | 20日(火) | 修院長教会博士ベルナルド |
| | 24日(土) | 使徒聖バルトロマイ日 |
| | 25日(日) | 聖霊降臨後第11主日 |
| | 28日(水) | 主教会博士オーガスチン |
| 9月 | 1日(日) | 聖霊降臨後第12主日 |
| | 2日(月) | 9月逝去者記念礼拝(聖餐式) |
| | 3日(火) | 聖書に学ぶ会(新約) |
| | 8日(日) | 聖霊降臨後第13主日 |
| | 10日(火) | 聖書に学ぶ会(旧約) |
| | 13日(金) | 殉教者主教シプリアンの聖十字架日 |
| | 15日(日) | 聖霊降臨後第14主日 |
| | 17日(火) | 聖書に学ぶ会(新約) |
| | 18日(水) | (秋期聖職按手節) 主教セオドル |
| | 19日(木) | オーストラリア、オセアニアの殉教者 |
| | 20日(金) | 聖書に学ぶ会(旧約) |
| | 21日(土) | 福音記者使徒聖マタイ日 |
| | 22日(日) | (秋期聖職按手節) 聖霊降臨後第15主日 |
| | 24日(火) | 聖書に学ぶ会(旧約) |
| | 29日(日) | 聖霊降臨後第16主日 |
| | 30日(月) | 聖ミカエルおよび諸天使の日 |
| 10月 | 4日(金) | 司祭教会博士ジェローム |
| | 6日(日) | アシジのフランシス |
| | | 聖霊降臨後第17主日 |

男子会だより

(7月)

7月21日(日)の男子会は昼食愛餐会の後に30分ほど藤田新一郎さんの司会で成鍾司祭からお話を伺いました。司祭の教会および祈りへの思いをお聞きすることができました。

その後に、8月18日(日)の昼食サーブス、ホットドッグの提供について内容や購入予定材料などの確認をしました。18日のお昼は冷たい紅茶とこだわりのソーセージを使ったホットドッグで皆様をお待ちしています。

今回の男子会は成司祭にも最後までご参加いただき、男子会の会則やメンバー、年間活動内容を簡単に説明いたしました。

(記・平山 新)

成 成鍾司祭の

お話を伺った会《報告》

6月21日(日)の愛餐会後に行なわれた「成鍾司祭のお話を伺う会」には、60名ほどの参加があり、成司祭への関心の高さが現れてい

る気がいたしました。藤田新一郎さんの質問にお答えになる形で、まず成司祭は聖職への召命や日本へ来ることになった経緯などをお話しされました。そして、「スピリチュアリティとは、またクリスチャンが黙想を大切にすることについてどのようにお考えになられているのか」という質問に対して成司祭がお話しして下さったことが、わたしたちにとつてとても大事なことであり、成司祭を知るといふことにおいても重要なポイントであると思い、そこにスポットライトを当ててご報告させていただきます。

成司祭はキリスト教のスピリチュアリティとは、「イエスキリストに基づいてある。聖霊の力をいただきながら生きていく。神との交わりを深めていく。そして生活の中で交わりのなかでいただいたものをいかしていく」ことであるとお話されました。その一環として黙想を行なうということがある。黙想という言葉は、ユダヤの伝統において「口ずさむ」ことが黙想にあたり、みことばを口ずさむことによつて身と心に沁み込んでい

く。みことばが受肉化していく過程が黙想であるといつてよい。

成司祭が黙想を大事にしたいというのは、「みことばを通して神は今の私に何を語ろうとしているのか。それを知りたいから」である。みこころは文字には充分あらわれておらず、泉のように深い。それを掘り出す過程が黙想になる。

沢山読むよりも、深く読む。そしてくみ取ったものが自分の身になつていく、その過程が黙想である。それが今の時代の信仰生活にとつてふさわしいのではないか、そしてもともとキリスト教の信仰生活はそのようにおこつていたのではないか。

聖書のみことばは、研究するものではなく、いただくものである。いただき、飲み、味わい、消化していく。研究することはいいけれども、その後の過程が求められる。研究した結果が身と魂の糧になるようにしていく。聖書というのは、ただ読む本ではない。目で見て、口で読んで、聴いて、身体で感じるといふように、聖書は五感を通して接するものである、と語られました。

また、今後徐々に定期的な黙想会の機会をつくつて、みなさんと分かち合つていきたい。みことばのなかには計り知れない深さがあり、すばらしいものがある。それを一緒に掘り出して、みことばに接し、信仰生活を共に歩んでいきたいと成司祭はおっしゃっていました。

わたしたちは、聖書のみことばを理解したいと思えます。そして、聖書を沢山読み、多くの説教を聞き、人間の理性的判断をもって聖書を理解しようと思えます。しかしながら成司祭のお話を伺つて、改めて自分の身も心も全て、自分の全存在を投げかけて、聖書の方から響いて来る神の慰めのことば、ゆるしのことば、希望のことばを全身で受け止めようとすることが求められている気がしました。わたしたちは、日々生きているなかで、悩み、苦しみ、また孤独を感じる必要があります。そのような自分の置かれている状況のなかで、みことばと「出会う」。みことばと「出会う」という出来事が起こるかもしれない、そんな期待をもつて成司祭との黙想会を共にでき

ることを楽しみにしたいと思いま
す。(記・萩原 充聖職候補生)

■教会と私

朝の礼拝、そして

西山 春生

鐘の音、司祭様入室。朝の礼拝
が始まる。

シート。後の席のおば様たちの
おしゃべりが止まらない。

母と私が名付けたニックネーム、
「仲良し三人組」、ときどき「お
しゃべり三人組」。

大きな体の母は、じつと座る。
ん？、母の体が動いた。首をた
れている。チラ見をする。

嬉しいシヨックだ。母がペンを
持ち、司祭様のお説教をメモして
いるのだ。

大丈夫。まだ字が書ける。
しかし、母と並んでお祈りがで
きたあの朝の礼拝は幾度もない。

歩行が難しくなり、老年痴呆も
始まり、大好きな三光教会でのお
祈りがかなわなくなったのだ。

我が家での祈拝。

高橋宏幸主教、中川英樹司祭、
そして沢山の三光教会の皆様が、
母の傍でお祈りを捧げ、聖歌を歌
つてくださった。

私が朝の礼拝を守り続けるのは、
あの仲良しおば様たち、そしてお
しゃべりもままならなくなった母
と一緒に祈りができたあの時間
が、私にとってかけがえのない宝
物だから。

☆ ☆

◆教会報「ひかり」に御寄稿を!!

エッセイ「教会と私」。内容は自由。
400〜500字程度。広報委員にお
届けください。いつでもお待ちしてい
ます。

御協力をお願い

ベタニア・ホーム等多くの介護
施設を営んでいる聖ヒルダ会を支
援するチャリティ講演会とコンサ
ートが催されます。深い関係を持
つ三光教会も後援しています。

この催しの詳細は聖堂内に貼り
出したポスターを御覧になり、御
協力をお願い致します。お問い合わせ
合わせ及びチケットは、平野淳子、
橋本夏子までお願い致します。

日時

10月9日(水)13時30分開演

場所

神奈川県民小ホール

「グリーンフケア

人生に於ける悲しみと喜びを

理解するために」

講演：高木慶子

演奏：パイプオルガン

三浦はるみ

独唱：古関尚子

○チケット：3千円

お願い

聖体拝領の際に口紅をよく拭き
取ってください。よろしくお願いいたします
(礼拝委員会)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が
少なくなりました。土曜日の午
前10時から1時間程ご奉仕くだ
さい。ご協力いただける方は直
接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子に
お掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金とし
て伝道のために献げられるも
のです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か
案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続
いて聖餐式